



新春のスタートを切る参加者

新春のスタートを切る「新春城山登山マラソン大会」が1月1日、城山公園周辺で開催され、老若男女約1700人が参加しました。

新春城山登山マラソン

5kmに分かれて、城山公園ふれあい広場をスタート。参加者はそれぞれのペースで、走り初めを楽しみました。



北谷 かおりさん (余戸東四丁目)

登山コースは坂を登るのが大変でしたが、完走できていい気持ちです。今年はず年の自分を超えられるよう向上心を持って、出会いを大切に一年にしていきたいです。

お問い合わせは、(公財)市体育協会 ☎9686660・FAX 9687770へ



高市 賢悟 選手 (東海大1年) 12月28日受賞



森田 梨沙 選手 12月27日受賞

平成23年度全国高等学校総合体育大会柔道個人66kg級 優勝 プレメックス国際大会20歳以下男子66kg級 優勝 2012年韓国ジュニア国際大会男子66kg級 優勝

第12回全国障害者スポーツ大会 車椅子ツインバスケットボール 優勝

かがやき松山大賞



「ほっちゃん島あわび」を試食する参加者

新年の門出を祝う平成25年松山市年賀交歓会を1月4日、総合コミュニティセンターで開催しました。会場では、まつやま農林水産物ブランド「紅まどんな」「ほっちゃん島あわび」や鯛ずしなどの試食のほか、1年間の市政記録をパネルで紹介しました。

平成25年松山市年賀交歓会



新年の抱負を述べる野志市長

また関係者ら約1000人が出席した式典で野志市長は「ことは大切にするまち。松山ならではの取り組みを進めていきたい」と新年の抱負を述べました。

お問い合わせは、秘書課 ☎9486200・FAX 9321877、(議)総務課 ☎9486646・FAX 9211110へ

「誇れる」地域の宝 東雲編



松山地方気象台

市の中心部に位置する人口8456人、世帯数5098世帯(1月1日現在)の東雲地区は、病院や学校などの公共施設が立地し、市内中心部にも近く、生活しやすい地区です。

気象台があります。昭和初期の近代洋風建築の様子を残す貴重な建築物で、平成18年には国の登録有形文化財に登録されました。100年以上、気象観測が続けられてきましたが、周囲の都市化が進み気象観測に支障が生じたことから、平成18年に近くの松山東高校の屋上に観測機器を移設し観測を続けています。

その松山東高校の校内には、前身である明教館があります。文政11(1828)年に建てられた松山藩の藩校の講堂で、正岡子規や秋山兄弟もここで学びました。昭和44年には県の文化財に指定され、現在は同校の部活動などで活用されています。

また松山東警察署の北西、六角堂には狸伝説が伝わります。六角堂には松山城の東の守として榎が植えられており、ここに住みついた狸がどくろで人間にいたずらをしていました。和尙にどくろを取り上げられ、いたずらをしなさいという約束をして返してもらい、それからは、ご利益があるとお参りされるようになったそうです。今も六角堂には、大きな狸の像が置かれています。



六角堂狸



防災キャンペーン2013

災害発生時におけるボランティア活動や、自主的な防災活動の重要性に対する認識を深めてもらおうと、1月12・13日に防災キャンペーン2013がフジグラン松山で開催されました。AED講習・応急処置や防災グッズの展示などが行われ、多くの家族連れらが、防災の知識を体験しながら楽しく学びました。

まつやま子ども育成会議が提言

まつやま子ども育成会議・鮎川恭三委員長らが平成24年12月26日に市役所を訪れ、「生き生きとした子どもが育つまちづくり」に向けての提言を行いました。提言書を受け取った野志市長は「子どもたちが、地域コミュニティーでの活動に主体的に参加できるように取り組みたい」と述べました。



市政スポーツ



道後温泉活性化計画審議会

第4回松山市道後温泉活性化計画審議会が平成24年12月21日に開催され、道後温泉本館修復時の代替施設として「椿の湯」を改築する方針が決定されました。また来年度も継続して審議会を開催し、道後温泉活性化に向けた魅力づくりについて、総合的な検討を進めていく予定です。

IT関連企業を誘致

本市と県の誘致により、ソフトウェア開発事業などを行うデジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)の企業立地に関する共同記者発表が平成24年12月20日、県庁で行われました。野志市長は「県内IT企業と連携した新しいビジネスモデルの構築や産官学連携による雇用の創出などにつなげたい」と話しました。

